

風水害に備えた様々な取組

総務局

① 東京の災害対応力の強化（相互協力協定）

- 災害時における地方公共団体相互間の連携を更に強めるため「東京都及び区市町村相互間の災害時等協力協定」を締結（令和3年12月）
- 相互協力の事例
 - ▷ 災害応急・災害復旧対応職員の派遣
 - ▷ 水害・火山噴火発生時等の避難先提供
 - ▷ 被災者等に対する物資の供与



都知事及び区市町村代表者
(江東区長・町田市長・瑞穂町長)
による協定締結式

② 大規模風水害に備えた合同訓練

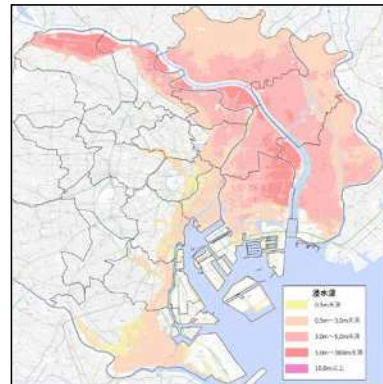
- 風水害時の対処能力向上に向け、都と武蔵村山市の主催で、災害対策本部運営等の図上訓練を実施（足立区・多摩市も参加）（令和3年6月）
 - ▷ 情報連絡要員（リエゾン）を市に派遣し、互いの連絡体制を確認
 - ▷ 台風接近前～通過後の各フェーズでの避難情報の発信や、避難所の開設のタイミングなどを区市と確認



情報連絡要員と市職員との
情報共有（武蔵村山市役所）

③ 東部低地帯での避難対策の推進

- 東部低地帯では、広範囲・長期間の浸水被害が想定
- 自治体の区域を越える広域的な避難が必要であり、**広域避難先の確保**が急務
- 渋谷区にある「国立オリンピックセンター」などを**広域避難先**とする協定を締結
- 引き続き、東部低地帯近傍で広域避難先を確保



浸水想定区域図
(荒川・江戸川・高潮の最大包絡)

④ 適切な避難行動の啓発（セミナー開催）

- 風水害時に適切な避難行動がとれるよう、学校・区市町村・町会・企業等に「東京マイ・タイムライン」を活用した**セミナー**を開催
- 早期避難の重要性の理解を深めるため、風水害の脅威を疑似体験できる**動画（VR）**を上映



都立高校でのセミナーの様子



VR映像：高潮による氾濫